

# まえがき

本報告書は、緑化生態研究室が平成 25 年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが平成 25 年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

平成 25 年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の 5 テーマに分類されます。

- ① 地球温暖化対策に関する研究
- ② 樹木の管理と更新に関する研究
- ③ 生物多様性の確保に関する研究
- ④ 良好な景観の形成に関する研究
- ⑤ 公共空間の分析と計画に関する研究

「① 地球温暖化対策に関する研究」では、緑地や樹木の CO<sub>2</sub> 固定に関する研究、植物廃材の再生可能エネルギー利用に関する研究を実施しました。

「② 樹木の管理と更新に関する研究」では、公園樹木や街路樹の健全度調査方法の検討等の樹木管理の高度化、街路樹の保全・再生手法に関する研究を実施しました。

「③ 生物多様性の確保に関する研究」では、都市における生物多様性の確保に関する研究、特定外来生物に指定されているオオキンケイギクの防除手法の確立に関する研究、猛禽類等に対する環境保全措置及びモニタリング手法の研究を実施しました。

「④ 良好な景観の形成に関する研究」では、歴史的風致を支える伝統技術の効果及び活用に関する研究を実施しました。

「⑤ 公共空間の分析と計画に関する研究」では、緑の基本計画の策定に関する研究を実施しました。

国総研は、平成 26 年 4 月 1 日より、防災・メンテナンス基盤研究センター（以下、基盤センターという）を新設しました。基盤センターは、東日本大震災を踏まえた防災・減災の備え、社会資本整備を取り巻く社会情勢の変化や国民の期待を受け、河川、道路、公園、下水道等各分野共通部門の研究の実効性・効率性の向上を目的としております。

緑化生態研究室は、新たに基盤センターに所属するとともに、地球規模の環境問題を踏まえつつ、自然と人間の共生する緑豊かな国土を形成し、国民が豊かさを実感できる生活環境を形成するため、今後も環境研究に邁進する所存であります。

末尾ながらこれまでの関係の皆様のご指導、ご協力に感謝するとともに、緑化生態研究室に対する変わらぬご支援をお願いする次第です。

平成 27 年 1 月

国土交通省国土技術政策総合研究所  
防災・メンテナンス基盤研究センター  
緑化生態研究室長  
栗原 正夫

